

「乳がん予防を目的とした疫学調査」に参加された方へ 【すでに提供していただいた血液・アンケートの調査研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部衛生学講座では国立がん研究センターと共同で「長野県およびサンパウロ州における2つの症例対照研究の既提供試料を用いた乳がんの分子疫学研究」という研究を行っております。この研究は、環境残留性・生体蓄積性の高い有機フッ素化合物への曝露が、乳がん罹患へどのような影響を及ぼすのかを調べることを主な目的としています。そのため、過去に長野県の4病院（長野松代総合病院、長野赤十字病院、長野市民病院、北信総合病院）において「乳がん予防を目的とした疫学調査」に参加された皆さんの血清検体、アンケートを使用させていただきます。

○この研究の対象となる皆さんは、長野県内の上記の病院で、西暦2001年から西暦2005年の間に「乳がん予防を目的とした疫学調査」に参加された方です。

利用させていただくカルテ情報は下記です。

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、乳がん関連項目の検査）

このほか、回答いただいたアンケート、提供いただいた血清を使用します。

○この研究は順天堂大学医学部研究等倫理委員会の承認を受けて行われます。

- ・研究実施期間 西暦2017年9月1日～西暦2022年3月31日まで
- ・研究責任者 伊藤弘明
- ・研究分担者（順天堂大学） 横山和仁、三浦芳樹、高ひかり、加賀直子
（試料提供元） 岩崎 基（国立がん研究センター）

○過去のデータ・検体を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた皆さんへの謝礼等もありません。

○皆さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、皆さん個人を特定できる個人情報を含みません。

○調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

○この研究は、JSPS 科研費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画し実施するものです。従いまして、研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究に関わる研究者には開示すべき利益相反はありません。

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」第12の1(4)の規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要し

ないと定められております。そのため今回の研究では皆さんから同意の再取得はせず、その代りに対象となる皆さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる方で、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

順天堂大学医学部衛生学講座
電話：03-5802-1047
研究担当者：伊藤弘明